



令和5年9月1日

# らいかい恵子 議員便り 258号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

残暑が厳しい中、合志市内の小中学校では8月28日に新学期が始まり、時を同じくして9月議会が開会。来海は29日、熱中症対策等について一般質問を行いました。この時期は夏の疲れが出やすいので、お気をつけください。来海は、毎月一人で議員だよりを8000枚配っています。



【令和5年6月議会一般質問から抜粋】

## 手遅れにならないために 無料低額診療知ってほしい！

**来海**：生活が苦しくて、国民健康保険料が払えないなどで診療をためらっている方がおられると聞きます。無料低額診療は県の制度で自己負担分が払えない方への支援制度です。こういう支援制度をぜひ周知して、診療をためらって重症になる前に、安心して治療を受けていただければ、健幸都市こうしの目標にもなると思いますがいかがですか？



**健康福祉部長**：無料低額診療事業の制度説明を少しさせていただきます。この事業は、社会福祉法第2条第3項第9号の規定に基づいて、生計困難者が、経済的理由で必要な医療を受ける機会を制限されることがないよう、無料または低額な料金で診療を行うという事業です。対象者は、低所得者、要保護者、ホームレス、DV被害者、人身取引被害者等の生計困難者ということになります。健康保険加入や生活保護開始までの一時的な措置で、熊本県内で届出をしている医療機関、これは熊本市を除いた8医療機関、それから、熊本市への届けをしているのが5医療機関となっています。

周知ですが、本市においては、生活困窮者の方から相談があったときに、生活困窮者の相談窓口として設置している安心サポート合志（☎ 096-248-1100 合志市福原 2922番地ヴィーブル内）で相談を受け付けています。診療の必要性がある場合は、状況に応じ

てこの無料低額診療事業の案内を行い、診療の際には同席し、移送においても支援をしています。

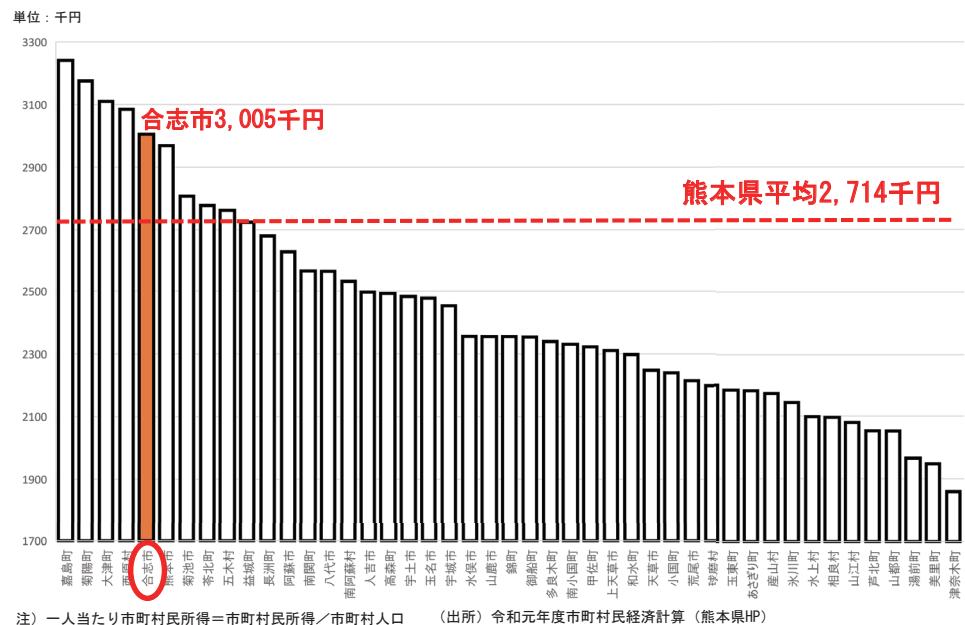
周知の方法は、安心サポート合志をホームページ等で周知しており、無料低額診療事業制度もあわせて周知をして支援制度の周知を行っていきたいと考えています。

**来海:**何でもかんでもこの制度を使えとかではないんです。広報こうしも毎月配られています。議会だよりも年4回配られ

ています。いろんなお知らせが来ても、読んでも閉じたら忘れている。読んだつもりでも関心のない事は忘れます。荒木市長は昨日の一般質問に、「見える化」と答弁されました。何処に相談していいか分からぬ方、相談したくても行けない方、インターネットに不慣れな方がいるのも事実です。ぜひとも、安心サポートのホームページで紹介も大事ですが、広報こうしでこういう制度もありますと知らせてほしいと願います。合志市は

## 一人当たりの市町村民所得

○合志市は、熊本県平均2,714千円を上回っている。

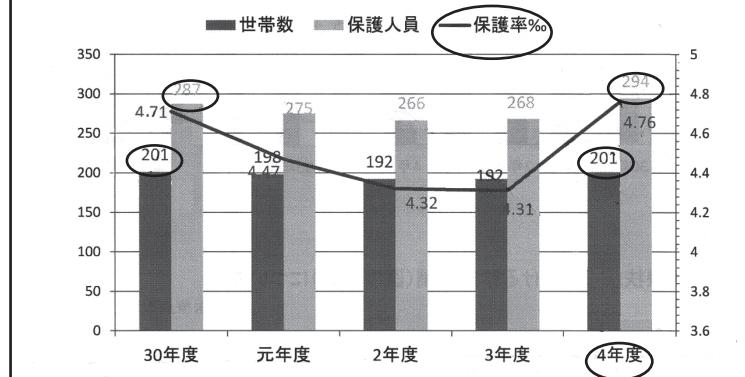


(注) 一人当たり市町村民所得＝市町村民所得／市町村人口 (出所) 令和元年度市町村民経済計算（熊本県HP）

熊本県平均2,714千円

番号	事業の名称	新規・継続	事業形態
36	生活福祉資金貸付事務事業	継続	県社協受託事業
	(事業の内容) ・「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に実施。 (貸付対象) ・低所得世帯(市民税非課税程度)、高齢者世帯、障がい者世帯 (実績) 上段:相談件数、下段:貸付決定	相談日	月曜～金曜
	母子等 障がい 失業 借金 生業 低所得 不動産担保 生活保護 コロナ特例貸付 合計	相談時間	8:30～17:30
	5 2 3 2 0 21 3 0 125 161	対象者	低所得世帯 障がい者世帯等
	0 0 0 0 0 0 0 0 120 120		

### ●保護世帯数、保護人員数、保護率の推移



※県平均保護率 14.02% (令和3年度平均) 現時点での最新データ

	就学援助		奨励費
	要保護	準要保護	準要保護
令和4年度	32	749	320
令和3年度	27	686	283
令和2年度	27	625	271

市民1人当たりの所得が県内で令和元年度で5番ですが、県社協から合志市社会福祉協議会に委託されている生活福祉生活貸付事業の件数は菊池郡管内も多いほうだと聞きました。また、生活保護世帯も件数は横並びなんですが人数が増えたり、児童生徒の準要保護・要保護も少しずつ伸びています。目に見えないところでコロナ禍でもありましたが、格差も広がっている状況ですので「見える化」で市民の皆さんにお知らせしてほしいと思います。

### 一枚の記事に目が釘付けに！

#### \*子どもの貧困 小児科の現場から「無料低額診療 知ってほしい」

ユキオさんという50代の男性が、私が勤務する病院の外科にかかりました。数か月前から便に血が混じり、下腹部の痛みがだんだんひどくなって、どうにも我慢できなくなってきたというのです。「先生、俺、がんなんでしょう？ 初めからそうじゃないかと思っていました。」ユキオさんの言葉に担当医は思わず「だったらどうしてもっと早く来なかつたんですか？」と聞いたそうです。「失業中でね。お金がないんです。」

担当医は「うちでは無料低額診療という制度が使えるので、お金がなくてもかかるんですよ。」と助言。すぐに入院してもらって手を尽くしましたが、ユキオさんは進行した大腸がんでした。手遅れで、半年後に亡くなりました。

「がんかもしれないと思ったのに医者にかかるなんて、信じられない。」と思う方も多いのでは。しかし、ユキオさんのように経済的な理由で受診せず、手遅れになる例は決してまれではありません。新型コロナウイルス禍では増えているはずです。

無料低額診療は、困窮する人が無料または少しの自己負担で受診できるよう、全国で約730ヵ所の医療機関が導入。約710万人が利用しています。(いずれも、2020年度実績)国民健康保険料を払えなくて、保険証を取り上げられた。保険証はあるが、自己負担分が工面できない…。そんな事情を抱える人にも医療を保障する制度ですが、あまり知られていません。

子どもは医療費助成制度で、大きな負担なくかかる場合が多いんですが、そのお父さん・お母さんが、自分の病気は我慢しているということはよくあります。無料低額診療を、ぜひ多くの方に知ってほしい。自分の命を諦めないでほしいのです。

(個人情報保護のため、氏名など事例の一部は修正しています。)



\*生活の困りごとがあれば、生活困窮者自立相談支援事業(安心サポート合志)にご相談ください。…秘密厳守です。

住所:合志市福原 2922 番地ヴィーブル内 ☎ 096-248-1100

<https://www.city.koshi.lg.jp/kiji00320238/index.html>

## 松井美津子前議員ありがとうございました♡

私が議員として、いえ人として尊敬する松井美津子前議員が今年の3月で引退されました。お疲れさまでした！

松井さんが、1期4年先輩です。1番最初にお会いしたのが、21年前菊池養生園議会でした。合併してから私は会派九思会、松井さんは公明党で、議会活動は同じ立場で活動しました。



松井さんは、とても真面目で優しい方です。親身になって市民相談にのっていらっしゃいました。私は、おっちょこちょいで学習能力がなく良いと思ったら突っ走り失敗も多いです。何度も「ダメかもしれません…。」と落ち込んでいると、さり気なく「大丈夫、頑張ろう！」と励ましてくださいました。その一言に、何度救われたことでしょう。

また、10年前に議員だよりを配っていて交通事故で3ヶ月入院しました。入院中に議会報告会で委員長として報告、6月議会で一般質問を行うのですが、左足を複雑骨折して移動は車椅子と松葉杖、母は認知症で福岡の弟があずかってくれましたが、家族や親戚がいなくてタクシー移動を考えていたら、松井さんが送り迎えをしてくださいました。生涯忘れません。人生どん底でも、頑張っていたら神はいるのだと実感しました。もっとすごいのは、引退されてから資格を取られてヘルパーとして活躍されています。

松井さんから受けたご恩は、今度は私が新人女性議員3人の力になろうと心に誓いました。また、市民のみなさまが「合志市に住んで良かった！」と言っていただけるようにより精進します。松井美津子さん、ありがとうございました。(<\_>)私も、松井さんの背中を追いかけて人として・議員として頑張ります。見てくださいね♡

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 FAX 096-248-8956

Mail rai-ok@nifty.com http://raikaikeiko.info/

